

RT-4D JU

JI1WMI 日本語版

radtel DMR

ユーザーズマニュアル

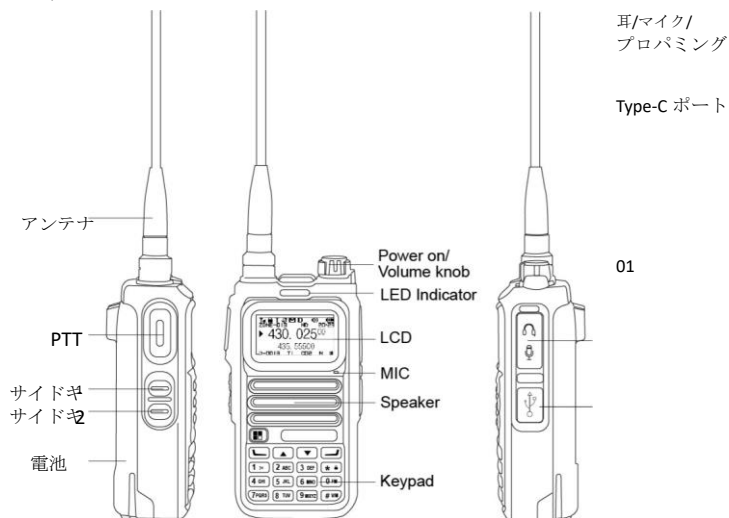
ICOM	機能
PTT	RF 信号を送信するか、現在の操作インターフェースを終了します。
サイドキー1	PTT 機能として定義 長押しと短押しの機能をカスタマイズする
サイドキー2	長押しと短押しの機能をカスタマイズする
MENU	メニュー、確認、または DTMF:A
C=	アナログモード:DTMF 入力モードまたは DTMF:B デジタルモード:ダイヤルコールモード

双方向ラジオの製品の安全性と RF 機能:

注意！

この双方向ラジオを使用する前に、安全な使用のための重要な操作手順、RF エネルギー認識、制御情報、および該当する国内および国際規格の RF エネルギー曝露制限に準拠するための操作手順が記載されたマニュアルをお読みください。

1. ラジオボタン&ノブ



d =	メニューをキャンセルまたは終了する A/B チャンネルの切り替え DTMF またはダイヤルコールモード:削除された文字
▲	アップ周波数、チャンネル、またはメニューを調整します。 DTMF:C
▼	ダウン周波数、チャンネル、またはメニューを調整します。 DTMF:D
0	定義された機能または DTMF コードを長押しする:O
0	短押し:番号 0 または空白 長押し:定義された機能。
1	DTMF コード:1 テキスト入力:数字 1/中国語または英語の文字
2-9	短押し:番号 2-9 長押し:定義された機能。 DTMF コード:2-9 テキスト入力:数字 2-9/中国語または英語の文字
02 *	短押し:チャンネル番号/チャンネル+周波数/チャンネル名を切り替えます 長押し:キーパッドをロックします DTMF の テキスト入力:テキストを削除
#	長押し:チャンネルモード/周波数モード/ゾーンモードを切り替えます DTMF コード:# テキスト入力:テキスト入力のオンとオフを切り替えたり、テキスト入力方法を切り替えたりします。

メニュー	サブメニュー	機能
01 ラジオ名	名前の編集	ラジオ名またはコールサインを設定し、*を押して入力を削除し、#を押して入力方法を選択します。
02 音声プロンプト	オンオフ	音声プロンプトのオン/オフを切り替えます。
03 キービーブ音	オンオフ	キーパッドのビーブ音をオン/オフします。
04 ロックタイマー	オフ、5 秒-600 秒	キーパッドをロックする時間。
05 バックライト	オンオフ	ディスプレイのバックライトをオン/オフします。
06 ライトタイマー	オフ、5 秒-600 秒	バックライトをオフにする時間。
07 明るさ		背景光の明るさレベルを選択します。
08 メニュー終了	オフ、5 秒-600 秒	メニューを終了する時間。
09 ステートタイマー	オフ、5 秒-600 秒	電圧、時刻、日付を表示します。
10 デュアルスタンバイ	オンオフ	デュアルスタンバイまたはシングルスタンバイを選択します。
11 TX 優先度	編集	常にメインバンドで送信します。
	忙しい	メインバンドとしてビジーチャンネルに切り替えます。
12 周波数ステップ	0.25,1.25,2.5,5,6.25,10,12.5,20,25,50, 100,500,1M、5M	頻度またはスキャンステップを設定する
13 トークアラウンド	オフ、トークアラウンド、周波数の反転	リピーターモードまたは通常モードを設定する



14 セーブモード	Off, 1:1-1:3	省電力率、省電力モードに入らずにデュアル周波数スタンバイモードを設定します。
15 スキャンモード	共	トランシーバーはスキャンを停止し、信号を検出すると同じ周波数に留まります。信号が消えるまで。信号が消えてからスキャンが回復するまでには 2 秒の遅延があります

- 1.VFO モード/CH モード/ゾーン-XXX モード。XXX は現在の作業ゾーンです。
- 2.>はメインの作業バンドを意味します
- 3.D-XXXX はデジタルチャンネル、A-XXXX はアナログチャンネル、XXXX はチャンネル番号
- 4.T1/T2 はデジタルチャンネルのタイムスロット、AM/FM はアナログチャンネルの変調、5.CXX はデジタルチャンネルのカラーコードです。CTC/DCS はアナログチャンネルサブトーンです。ENC はアナログチャンネル暗号化サブトーン、MUT はアナログチャンネルデコードサブトーン
- 6.H はハイパワーです。L は低電力です
- 7.W は広帯域です。N は狭帯域です
- 8.サブチャンネル情報
- 9.メインチャンネル情報
- 10.HD はデジタル通話保留ステータスです
- 11.システム時刻
- 12.バッテリーレベル
- 13.アラート音声
- 14.デュアル周波数スタンバイ
- 15.未読 SMS
- 16.スキャンニング
- 17.R は逆周波数です。T は Talk Around です
- 18.キーパッドがロックされています
- 19.シグナルアイコン

メニュー	サブメニュー	機能
25 エリア A ショー	周波数を表示 エイリアスを表示	選択したモードでの表示方法を設定します
26 エリア B ゾーン	ゾーン 1-ゾーン 256	ゾーン番号を設定する
27 CH を保存	CH-ウーイッチ-1024	周波数とトーンをチャンネルに保存します
28 CH を削除	CH-ウーイクフイ-1024	このチャンネルの周波数とトーンを削除します
29 インストラクション	バーコード	バーコードをスキャンしてユーザーマニュアルを入手する
30 バージョン	バージョン情報。	バージョン情報を表示する
31 LCD コントラスト	ディスプレイのコントラスト	ディスプレイのコントラスト、値が大きいくほど、コントラストが深くなります。設定後は再起動が必要です
32 初期化	キャンセル 確保	開始を確認またはキャンセルする

メニュー	サブメニュー	機能
15 スキャンモード	宛先	トランシーバーが信号を検出すると、スキャンを停止し、同じ周波数のままになります。プリセットされたディエムの後、トランシーバーは信号がまだ存在していてもスキャンを続けます。
	SE の	信号を検出すると、トランシーバーはスキャンを終了し、この周波数のままになります
16 スキャン方向	上、下	スキャン方向を設定する
17 スキャンドウェル	0-30	TO スキャンモードのスキャン停止時間を設定する
18 スキャンリターン	オリジナル CH 現在の CH	スキャン後に現在のチャンネルを設定する
19 アラームタイプ	地元の	ラジオは警報音を発します
	遠隔	ラジオはアラーム音を発し、他のラジオはアラーム音を受け取ります。
	ローカル+リモート	両方のラジオが警報音を発します
20 メイン PTT 送信	エリア A メインエリア	メインエリアで送信するか、常に A エリアで送信します
21 エリア A モード	CH モード ゾーンモード 周波数モード	チャンネルモード、周波数モード、またはゾーンモードを設定します
22 エリア A ショー	CH ノーショ ーの周波数 エイリアスを 表示	選択したモードでの表示方法を設定します
23 エリア A ゾーン	ゾーン 1-ゾ ーン 256	ゾーン番号を設定する

24 エリア B モード	CH モード ゾーンモード 周波数モード	チャンネルモード、周波数モード、またはゾーンモードを設定します。	05
25 エリア A ショー	CH 番号を表示	選択したモードでの表示方法を設定します	

キー定義

メニュー	サブメニュー	機能
スレープ PTT	オン、オフ	サイドキー1を PTT ボタンとして設定します
サイドキー1S	何一つ	サイドキー1、サイドキー2、Num0-9 を短く押すか長押しします
サイドキー1L	モニター(ANA)	
サイドキー2S	HIL パワー	
サイドキー2L	デュアルスタンバイ	
0 プレスロッキング	Tx 優先度、	
1 長押し	スキヤニング	
2 長押し	バックライトのオン/オフ	
3 長押し	ロジャービーブ音	
4 ロングプレス	FM ラジオ、	
5 ロングプレス	トークアラウンド	
6 ロングプレス	警報	
7 長押し	周波数検出	
8 長押し	CTC/DCS スキャン	
	シングルトーン	

アナログセット

メニュー	サブメニュー	機能
01 平方位	0-10	スケルチをオフに設定すると、スケルチが完全に開き、信号がないときにレシーバーが無音になります。低いレベルは干渉しやすく、高いレベルでは低いレベルほど感度が良くないので、中程度に設定するのがベストです
02 TX スタートトーン	オン、オフ	送信前のトーン
03 TX エンドトーン	オフ、ロジャービーブ音	トーンエンドの送信または無線名の送信
	ロジャービーブ2	
	ラジオ名	
04 シングルトーン	1750 ヘルツ	Key Define でトーン周波数を編集します
05 マイクゲイン	0-31	マイクの感度を調整し、値が高いほど感度が高くなります。
06 SPK ゲイン	0-63	スピーカーの音量を調整し、値が大きいくほど音量が大きくなります。
07 検出範囲	周波数範囲	他の無線機からの周波数を検出するための周波数範囲を設定します。
08 リピーター遅延	0-2000 ミリ秒	リピーターの遅延時間を設定します。
09 DTMF 遅延	0-2000 ミリ秒	DTMF 遅延時間の設定
10 DTMF インターバル	30-200 ミリ秒	DTMF インターバル時間の設定
11 DTMF 期間	30-200 ミリ秒	DTMF 期間時間の設定
12 DTMF モード	オフ、Tx スタート、	DTMF コードの送信を設定します

9 ロングプレス	ステータスクエリ
	リモートモニター
	カラーコードスキャン
	リモートスタン
	リモートキル
	RMT ウェイクアップ
	オンラインチェック
	LCD の明るさ
	Noaa モード

	Tx エンド、両方	
13 DTMF セレクト	01-16	DTMF コード 1-16 を選択します。
14 DTMF ディスプレイ	オン、オフ	ディスプレイ DTMF デコードをオフにする
15 DTMF TX 街	0-127	DTMF 送信ゲインの設定
16 DTMF RX TH	0-127	DTMF 受信しきい値の設定
17 DTMF 制御	オン、オフ	DTMF コントロールをオフにする
18 時間校正	オン、オフ	リモートタイムキャリブレーション

デジタルセット

メニュー	サブメニュー	1-16776415 からの機能デジタル ID
01 個人 ID	00000001	
02 コールトーン	オンオフ	通話トーンをオフにする
03 通話終了トーン	オンオフ	タムオンオフコール終了トーン
04 グループホールド	0000	グループ通話の保留時間を設定する
05 シングルホールド	0000	1 回の通話保留時間の設定
06 SQ レベル	0-16	デジタルスケルチレベルの設定
07 マイクゲイン	0-15	マイクゲインの設定
08 SPK ゲイン	0-15	スピーカーゲインを設定する
09 接点セット	連絡先リスト、契約の追加	電話の連絡先情報を追加/削除/変更するために使用されます。All Call の連絡先は 1 つだけであり、変更または削除することはできません。連絡先 ID は範囲を設定できます:1-16776415。
10 グループリストセット	グループリストセット	ユニットの受信者グループリスト情報を追加/削除/変更するために使用され、グループ通話リストのメンバーを編集するときは、グループ通話連絡先のメンバーを選択するには、選択したメンバーの背景が黒に変わり、-J キーを選択して選択を解除します。
11 暗号化セット	キー 1-256	[暗号化キー設定]は、本機の DMR 音声暗号化情報です。

チャンネルセット

メニュー	サブメニュー	機能
01 DMR モード	デュアルスロットオフ デュアルスロットオン	電流チャンネルの DMR ダブルキャパシティモードを有効または無効に
02 DMR スロット	スロット 1 スロット 2	現在のチャンネルの DMR タイムスロットを選択します
03 カラーコード	0—15	現在のチャンネルの色コードを選択します
04 連絡先	すべての通話	現在のチャンネルの通話連絡先の設定
05 RX グループ	オフ	現在のチャンネルの受信グループ通話リストを設定します
06 暗号化	Off.Ke 1 - 256	現在のチャンネルの音声通話キーを設定する
07 TX 丁寧に	失礼	受信状態かどうかに関わらず送信します
	キャリアマッチ	現在のチャンネルは、信号がある限り送信を禁止されています
	CC マッチ	カラーコードが一致する場合にのみ送信を禁止します
08 TX パワー	低い 高い	電流チャンネルの高および低送信電力
09 スキャン追加	追加、削除	スキャンリストに追加または削除する
10 トット	オフ、5 秒-600 秒	タイムアウトタイマーを設定する
11 CH エイリアス	チャンネル名	チャンネル名の編集
12 オフセット方向		現在のチャンネルの周波数差方向

ゾーン・セット

設定用のゾーンは 256 個あり、各ゾーン名とゾーンチャンネルを編集できます。

09 10 各ゾーンには 1024 のチャンネルがあります。

Menu	サブメニュー	機能 SMS
01 新しい SMS	メッセージの編集	メッセージの編集
02 受信トレイ	SMS の保存	SMS の保存
03 送信トレイ	SMS を送信	SMS を送信
04 ドラフト	SMS ドラフトの編集	SMS ドラフトの編集
05 デフォルトの SMS	プリセット SMS	プリセット SMS
06 SMS をすべてクリア	すべての SMS を削除	すべての SMS を削除
Menu	Sub Menu	Function
メニュー	サブメニュー	機能セット
01 作業モード	CH モード、周波数	の動作モード
02 RX スタンバイ	オンオフ	rx モード時のオフラジオのタム
03 スキャンモード	1 つのステーション、すべての範囲	検索モードを設定する
面積	FM ラジオゾーン	各ゾーンに 16 チャンネルを設定
05 チャンネル	FM ラジオチャンネル	16 の FM ラジオチャンネルを設定

メッセージ

FM ラジオ

13 オフセット周波数	オフセット周波数	オフセット周波数の設定
-------------	----------	-------------

タイムマネジメント

Menu	Sub Menu	Function
メニュー01 APO	サブメニュー オン、オフ	機能 自動 電源のオン/オフを設定する
02 APO タイマー	電源オフタイマー	電源オフタイマーの設定
03 システム時刻	システム時刻	システム時刻の調整
04 クロック 1 種類	オフ、一度、毎日	セットクロック 1 タイプ
05 クロック 1 時間	時計 1 時間	クロック 1 タイマーを設定
06 クロック 2 タイプ	オフ、一度、毎日	セットクロック 2 タイプ
07 クロック 2 時間	時計 2 時間	クロック 2 タイマーを設定する
08 クロック 3 タイプ	オフ、一度、毎日	セットクロック 3 タイプ
09 クロック 3 時間	時計 3 時間	クロック 3 タイマーを設定
10 クロック 4 タイプ	オフ、一度、毎日	セットクロック 4 タイプ
11 クロック 4 時間	時計 4 時間	クロック 4 タイマーを設定します
12 スケジュール	リスト 1-128	スケジュールを設定する

12

11

機能の説明

1.周波数入力

#を押して周波数(VFO)モードにし、テンキーで周波数値を入力し、8 桁を積んで入力操作を完了します。

2.リピーター周波数入力

メニューに移動します チャンネル設定 05 異なる方向 12 と異なる周波数 13 を設定します

3.DMR 音声暗号化

本機は、ARCIAES128/AES256 の 3 つの暗号化方式をオプションで提供しています。音声暗号化が設定された 2 つのデバイスが話す必要がある場合は、3 つの条件を同時に満たす必要があることに注意してください。
(2)暗号化キーと同じシリアル番号。(5) 暗号化キーと同じキー値。

4.通話のダイヤル

デジタルチャンネルで、を押します ダイヤルインターフェイスに入力します。スイッチ コール タイプ経由。キーパッドで通話 ID を入力し、PTT を押して通話を送信します。

五 DTMF の

5.1 DTMF の入力と送信

(I)プレス アナログチャンネルの下にいる間、int DTMF 入力インターフェースを入力します。

- (二) キーパッドで DTMF コードを入力し、J で削除します。
(三) PTT を押して電話をかけると、デバイスは指定された遅延時間後に DTMF コードを受信者に送信します

五.二 デバイスがアナログ受信ステータスに入る間、DTMF デコードをオンにすると、ディスプレイに送信者の DTMF コードが表示されます。

五.三 キーパッドを押すと、アナログ送信ステータスのときに相対 DTMF コードが送信されます。

五.四 DTMF リモートモニター

O DTMF モニターコードを設定し、(DTMF コントロール)をオンにします
(2)他の無線機は、同じモニターコードで DTMF コードをこの無線機に送信します。O デコードに成功した後、ラジオは自動的に 60 秒間送信してリモートモニターを実現します。

5.5 DTMF スタン/キル/アクティベート

O Stun/Kill/Activate の DTMF コードを設定し、(DTMF Controll

(2)他のラジオは、相対的な DTMF コードを送信するときに、このラジオに対してスタン/キル/アクティベートを行います。

ラジオは、キルステータスになったらアクティブ化コードを受け取るまで使用できません。ラジオは受信できますが、スタン状態になると、キーパッドを介して何も入力したり送信したりすることはできません。
注意: Stun / Kill コードが設定されたら、Activate コードを設定する必要があります。そうしないと、デバイスをアクティブにできなくなります。

六 テキスト入力 6.1 入力方法を切り替えるには#を押し、テキスト入力状態の場合は*を押して入力を削除します。

六.二 数字キーを押して数字を入力します

六.三 英字入力 (AB) (abc)

- (I)番号 2～9 は相対的な英語の文字を入力でき、番号 O を押してスペースを入力し、番号 1 を押して英語の記号を入力できます。
(2)同じボタンを押して、別の文字に切り替えます。

7 アナログチャンネルでのみ利用可能な Defineable キーの機能 [Monitor(Analog)]。このキーをトリガーすると、受信状態と再生状態に入ります。

[HIL パワー]電流チャンネルのハイ/ローパワーを切り替えます。
[デュアルスタンバイ]デュアルスタンバイをオン/オフにします。デュアルスタンバイがオンになると、省電力モードは無効になります。
[TX 優先度]RX の優先を[編集]または[ビジー]に切り替えるビジーステータスに設定すると、通話が終了すると、メイン周波数は自動的に通話周波数に移行します。

[スキャン]このボタンを押してスキャン状態に入り、任意のキーを押して終了します。

[バックライトのオン/オフ]を押して、バックライトをオン/オフします。
[ロジャービーブ音]RX のエンドトーンタイプを切り替えます。

[FM ラジオ]

@ボタンを押して FM ステータスに入り、PTT を押して終了します。
#ボタンを押して、FM から周波数モードまたはチャンネルモードに切り替えます。周波数モード下で数字キーを押して FM 周波数を入力しま

す。チャンネルモード下で数字キーを押して **FM** チャンネルを入力します。

FM 検索からシングルチャンネルまたはフルバンドモードに切り替えるための **OPress ***ボタン。上キーまたは下キーを長押ししてチャンネルを検索します。シングルチャンネル検索モードでチャンネルを受信したら、検索を停止します。**16** チャンネルを検索し、フルバンド検索モードで保存します。

[トークアラウンド]リピーター周波数をトークアラウンドまたは周波数リバースに切り替えます。

14

Talk-Around 状態で **RX** 周波数で送信します。周波数リバースモードで **RX** と **TX** の周波数を交換します。

[アラーム]ボタンを押して緊急警報状態に入り、警報音を鳴らし、任意のキーを押して終了します。[周波数検出]/[リモート **CTC/DCS** スキャン] (C)このボタンを押して周波数検出またはリモートサブトーンデコードモードに入ると、デバイスは近くの **RX** 信号をスキャンします。

(二) *ボタンを押して、周波数検出モードとリモートサブトーンデコードモードから切り替えます。

(三) 周波数検出中に終了するにはまたは **PTT** を押し、検出帯域を切り替えるには#を押します。

@ -を押す -Jは検出が完了した後に再検出します。を押して検出結果を **VFO** チャンネルに保存し、スタンバイモードに戻ります。**PTT** を押して検出結果をあきらめ、検出モードを終了します。

[シングルトーンを送信]アナログチャンネルでのみ使用できます。このボタンを押すと、現在の周波数で単一の周波数信号が送信されます。

[ステータスクエリ]このボタンを押すと、時間、バッテリー残量などを確認できます。

[リモートモニター]デジタルチャンネルと個別通話連絡先で利用できます。このボタンを押すと、周囲の音を監視するための **15** 秒間の通話がかかります。[カラーコードスキャン]デジタルチャンネルでのみ利用可能です。このボタンを押すと、カラーコードスキャンモードに入り、同じデジタル周波数からカラーコードをスキャンできます。[リモートスタン/キル/ウェイクアップ]デジタルチャンネルと個別通話のみご利用

いただけます。このボタンを押すと、指定されたラジオをスタン/キル/アクティブにします。スタンラジオは信号を受信しても何もできません。殺されたラジオは使用できず、アクティブにしてスタンとキルのステータスから削除するだけです。

[オンラインチェック]デジタルチャンネルと個別通話のみご利用いただけます。このボタンを押して、ラジオがオンになり、同じチャンネルでオンになっているかどうかを確認します。

[LCD の明るさ]このボタンを押すと、バックライトの明るさを変更できます。レベル **0** が最も暗く、レベル **4** が最も明るいです。

[**NOAA** モード]このボタンを押して **NOAA** スキャンモードに入り、上/下ボタンで **NOAA** チャンネルを切り替えます。ラジオは、**6S** の操作がない場合、**NOAA** を自動的にスキャンし始めます。以下は **NOAA** の周波数です。

1	162.55000M 閲覧数	2	162.40000M 閲覧数	3	162.47500M 閲覧数
4	162.42500M 閲覧数	5	162.45000M 閲覧数	6	162.50000M 閲覧数
7	162.52500M 閲覧数	8	161.65000M 閲覧数	9	161.77500M
10	161.75000M 閲覧数	11	162.00000M		

15

メニュー仕様

8 ラジオ設定

[ラジオ名]このラジオのエイリアスを変更するには、所有者のエイリアスまたは発信者番号として設定できます。メニューリストの[アナログセット]で[ラジオ名を送信]として設定されている場合

->[TXEnd Tone]、このラジオのエイリアスは、アナログ通話が終了した後に受信機に送信されます。

[ロックタイマー]スタンバイ状態で指定時間内にラジオが操作されない場合、キーパッドは自動的にロックされます。*ボタンを長押しして、キーパッドのロックを解除します。

[ライトタイマー]バックライトのシャットダウン時間を設定します。[オフ]に設定すると、ラジオはタイマーをオフにし、バックライトは自動的にオフにならなくなります。[メニュー終了]ラジオは、指定された時間内に操作がなくなると、メニューインターフェイスを自動的に終了します。

[モデルを保存]省電力機能を設定しながら消費電力を節約します。ただし、RX には遅延があり、省電力ステータスではメッセージが省略または欠落しています。そうしないと、デュアルスタンバイ状態にある間、無線を省電力として設定できません。

[スキャンモデル]を[CO]として設定すると、受信信号が終了するとラジオはスキャンを再開します。[TO]に設定すると、ラジオは信号を受信した後、スキャンを再開し、しばらく滞在します。[SEI]として設定すると、無線は信号を受信するとスキャンを停止します。

[スキャン方向]上向きと下向きにスキャンします。

[スキャンドウェル][TOI ステータス]の下で信号の滞在時間を設定するには。

[スキャンリターン]「オリジナル CHI もスキャン完了後、元の状態に戻る」として設定します。スキャンが完了した後も現在のチャンネルに留まるように、[現在の CHI]として設定します。[アラームタイプ][ローカルアラーム]に設定すると、アラームが鳴り響きます。[リモートアラーム]として設定すると、リモートラジオにアラーム信号が送信され、このラジオ自体は音を出しません。[ローカル+リモート]として設定すると、このラジオはアラームを鳴らし、この機能をトリガーしながらリモートラジオにアラーム信号を送信します。[メインPTT送信][エリア A]として設定し、PTT を押して A バンドで送信します。[メインエリア]として設定し、PTT を押してメインバンドで送信します。

[CHI を保存]現在のチャンネルを指定したチャンネルにコピーして保存します。[CHI の削除]選択したチャンネルのデータを削除します。

[LCD コントラスト]値が大きいほど、コントラストが深くなります。また、設定を完了するにはラジオを再起動する必要があります。

[初期化]周波数データは最後のプログラミングステータスに戻ります。

8.1 定義可能なキー

[奴隷商人 PTT]サイドキー 1 をセカンダリ PTT として設定します。サイドキー1を押して B バンドで送信すると、プリセット機能は無効になります。

8.2 アナログ設定

16

このデータは、アナログチャンネルでのみ使用できます。

[SQ レベル]値が大きいほど、受信をオンにするのが難しくなります。

[TX スタートトーン]個々の通話頻度を設定するために使用します。

[MIC ゲイン]MIC 受信感度を調整します。値が高いほど、MIC の感度が高くなります。

[SPK ゲイン]スピーカーの音量を調整します。値が大きいほど、スピーカーの音量が大きくなります。オーディオの歪みを防ぐため、スピーカーの音量を上げないでください。[DTMF 遅延]DTMF トーンが必要な場合は、指定の時間に送信されます。

[DTMF インターバル]2 つの DTMF コードの間隔を設定します。

[DTMF 期間]個々の DTMF コードの持続時間を設定します。[DTMF モード]DTMF コードの送信時間を設定します。ラジオが[Off I]として設定されている場合、ラジオは送信中に DTMF コードを送信しません。

[DTMF セレクト]送信中に 16 のプリセット DTMF コードのいずれかを送信します。[DTMF ディスプレイ]受信した DTMF コードは、ラジオが[オン]に設定されるとディスプレイに表示されます。

[DTMF TX ゲイン][DTMF RX THI 異なるブランドのラジオの DTMF コードをデコードする際に問題があります。これら 2 つのオプションの値を調整することにより、異なるブランドのラジオの DTMF コードに互換性を持たせることができます。エンコードゲイン 64 とデコードスレッシュホールド 24 が推奨されます。

[DTMF 制御]他のラジオは、ラジオが[オン]に設定されている場合、モーター/スタン/キル/アクティベートの同じ DTMF コードを送信することにより、このラジオを担当できます。

8.3 デジタル設定

このデータは、デジタルチャンネルでのみ使用できます。

【個人 ID】数値 ID を設定するには、ID の範囲は 1 ~ 16776415 です。

[グループホールド(単位:ms)]この無線機は、グループ通話終了後、指定された時間内に電話をかけ、受信部分が着信側になります。

[シングルホールド(単位:ms)]このラジオは、個々の通話終了後、指定された時間内に電話をかけ、受信部分が着信者になります。

[SQ レベル]デジタル通信のスケルチを設定するため。値が小さいほど、スケルチをオンにしやすくなります。スケルチレベルが小さすぎると、ラジオは省電力モードにならないことに注意してください。

[接点セット]連絡先リストの追加/削除/変更を設定します。すべての通話連絡先は1つだけであり、変更および削除できないことに注意してください。連絡先IDの範囲は1-16776415です。

[グループリストセット]受信グループ連絡先リストの追加/削除/変更を設定します。を押して、グループ通話メンバーを選択すると、選択したメンバーが黒い背景に変わります。そして、-Jを押してキャンセルします。

【暗号化セット】このラジオのDMR暗号化を設定します。

17

8.4 チャンネル設定

8.4.1 アナログチャンネル設定

[CTC/DCS] [RX CTC/DCS] [TX CTC/DCS]現在のチャンネルのサブトーンを設定します。*キーでタイプを切り替えます。

[DCS エンシールキプト][Encrypt 1/2/3]として設定すると、標準のDCSで暗号化され、DCSでのみ有効になります。[ミュートコード]として設定すると、現在のチャンネルのサブトーンが無効になり、現在のチャンネルのサブトーンとして[ミュートコード 11213]を使用します。

[ミュートコード 11213]ワンクリックのプライバシーデコード機能で非標準のデジタルサブトーンをデコードします。

[スキャン追加][削除]として設定すると、ラジオはスキャン中にこのチャンネルをスキャンしません。[オフセット方向]周波数方向を設定する前に[オフセット周波数]を設定してください。[上向き]を選択すると、TX 周波数= RX 周波数+周波数差になります。[下向き]を選択した場合、TX 周波数= RX 周波数-周波数差

[オフセット周波数]現在のチャンネルの周波数差をオフにする必要がある場合は、周波数差を0に設定します。8.4.2 デジタルチャンネル設定

[DMR モデル]に設定するとタイムスロットの差はなく、[デュアルスロットオフ]に設定すると、周波数とカラーコードが同じであれば相互に通信できます。無線機は、[デュアルスロット]として設定されている同じタイムスロットでのみ通信できます。

[DMR スロット]現在のチャンネルのタイムスロットは、[デュアルスロットオン]に設定されている場合にのみ有効です。

[TX は丁寧]にデバイスは、[インボリト]として設定すると、通話が少なかついてかどうかに関係なく電話をかけることができます。[Carrier Match]として設定され、現在の周波数が占有されている場合、デバイスは呼び出されたかどうかに関係なく電話をかけることができません。[CC Match]に設定すると、他の人から呼び出されている間は電話をかけることができません。

8.5 ゾーン設定

256のゾーンがあり、編集可能です。'キーを使用して現在のゾーンのメンバーを選択し、-u キーを押して削除します。

8.6 SMS の

[新しい SMS]は編集でき、メニューキーを押して[送信]を選択するか、[保存]SMS を[Contacts]または[ダイヤル番号]を介して受信者に送信してIDと送信タイプを選択できます。[ダイヤル番号]ステータスのキーを使用して、通話タイプを[個別]または[グループ通話]に切り替える。編集時のSMSテキストは[下書き]に保存され、[保存][受信トレイ]として設定すると、受信したSMSと最大256個のSMSが保存されます。各SMSには、以下の内容が含まれています。

@時間:受信時間。

18

(2)タイプ:個人/グループ/すべての呼び出し。

O ID:送信者 ID

@ 名前: 連絡先リスト内の連絡先。リストにない場合、この項目は空白です。

(イ)テキスト:SMS テキスト。数字は行番号を意味します。

SMS を読み取った後、次の操作を行うことができます:[返信][返信 SMS を編集して送信者に送信する][転送](SMS を他の人に転送する)または

[削除][送信トレイ]を送信したSMSを保存するには、最大256個のSMSがあり、各SMSには次のものが含まれます

(J)時間:Tmeを送信しています

(2)ステータス:送信済みまたは失敗。

(S)タイプ:プライベート/グループ/すべてのコール

@ ID: 受信者 ID

(5) 名前:連絡先リスト内の連絡先。リストにない場合、この項目は空白です。

@ テキスト: SMS テキスト。数字は行番号を意味します。

SMS を読み取った後、[再送信](SMS を再送信する)[転送](SMS を他の人に転送する)または[削除]の操作ができます。

[ドラフト]未完成のSMSと最大256個のSMSを保存

[デフォルトのSMS]PC 経由で事前に編集およびプログラムされたSMSで、最大16個保存できます。

[すべてのSMSをクリアする][受信トレイ][送信トレイ][下書き]のすべてを削除します

8.7 FM ラジオ

[作業モード]を[周波数モデル]に設定すると、FM ラジオステータスの場合、入力 は FM ラジオ周波数の値になります。チャンネルノブを使用して周波数を切り替えます。[CH モデル]として設定し、入力 は FM チャンネル番号で、チャンネルノブを使用して FM チャンネルを切り替えます。

【RX スタンバイ】[オン]に設定すると、ラジオは FM ラジオステータスの状態でメイン周波数の通話信号をスタンバイできます。

[スキャンモード][One Station]として設定すると、FM ラジオは、利用可能なチャンネルを検索し、チャンネル周波数を現在のチャンネルに保存すると、チャンネルの検索を停止します。[All Range]として設定すると、ラジオは 16 チャンネルを検索して RM ラジオチャンネルに保存すると、チャンネルの検索を停止します。

[エリア]ラジオには 16 の FM ラジオゾーンがあり、ゾーンごとに 16 のチャンネルがあります。また、ゾーン名は編集可能で、[現在として設定]として設定できます。

[チャンネル]現在の FM ゾーンの 16 チャンネルで、周波数値は編集可能で[現在として設定]として設定できます。

8.9 時間管理

【APO】自動シャットダウン機能を[オン]または[オフ]にします。

[APO タイマー]ラジオで何もアクションを行わない場合、この機能をアクティブにすると、ラジオは自動的にシャットダウンします。

19

仕様

周波数範囲	全般 受信のみ: FM ラジオ:64-108MHz AM 航空周波数帯域:108-136MHz アナログ周波数:136-520MHz デジタル周波数:136-174MHz 400-470MHz 送信: 1)米国向け アナログ周波数:144-148MHz 420-450MHz デジタル周波数:144-148MHz 420-450MHz 2)ヨーロッパ向け: アナログ周波数:144-146MHz 430-440MHz デジタル周波数:144-146MHz 430-440MHz その他の国の場合:上記と同じではありません
チャンネル容量	1024 チャンネル+2 * VFO チャンネル
チャンネル間隔 (WIN)	アナログ:25kHz/12.5kHz デジタル•12.5K
電圧 e	7.4V DC
ワークインモード	同じ周波数のシンプレックス、異なる周波数のシンプレックス
アンテナ	取り外し可能なアンテナ
Fre uenc Stable	±2.5ppm
Workin Tem erature	-200 & +600
次元	112 約 198g

	送信部
変調モード	アナログ:F3E デジタル:4FSK
最大周波数偏差 (WIN)	< 5KHz /Q.5KHz
SNR(WIN)	-45dB / -40dB
TX 電流	< 1500mA
Sensitivity (W/N)	受入部
	0.22pV/0.25PV 12dB SINAD
相互変調(WIN)	65dB/60dB
オーディオの歪み	
オーディオ出力電 力	< 1W (16Q)
RX 電流	< 350mA
スタンバイ電流	< 70mA

注:上記のパラメータは、事前の通知なしに変更される場合があります。